

国際の街・長崎コンサート実行委員会は、2012年に東日本大震災チャリティコンサートを開催したのを契機にして、毎年1回クラシック音楽を長崎に届ける活動をしています。

ウィーン・フィルのメンバーと40年以上に亘り、深く親交のある実行委員がいますので、その人脈をいかして、主にウィーン・フィルのメンバーを中心に長崎に招聘しています。

8年目となる今年は、ひとつでも獲得が難しいヨーロッパの国際室内楽コンクールで3冠に輝く、ウィーンで活躍している若手演奏家4名で結成しているストラトス・カルテットを招聘しました。現在ヨーロッパで最高峰のピアノ四重奏団です。今回、4人揃っての初来日、東京、横浜に先駆けて長崎が日本初演となります。きっと話題になることと思います。若々しく、力強い4人の息の合った演奏を是非聴いていただきたいと思います。F.メンデルスゾーン、W.ゲルノート、J.ブラームスのピアノ四重奏曲を演奏します。

#### ストラトス・カルテットクラシックコンサート

5月27日(月) チトセピアホール 開場 18:30 開演 19:00  
指定席 5000円 自由席 4000円 学生 2000円

地元長崎に良質なクラシック音楽を届けるとともに、奏者に学校訪問を依頼して、児童・生徒に直に生の演奏を聴いてもらう活動をしています。今回は、5校の訪問を予定しています。

より多くの方々にコンサートを聴いて頂きたいと、瓊林会メールマガジンへの掲載をお願いしました。我々は、営利を求めずボランティアでの活動ですので、リーズナブルな価格でコンサートを開催しています。

チケット購入希望者は、コンサート実行委員会事務局に申込をお願い致します。瓊林会会員の皆様には、各種500円割引で販売いたします。

また、実行委員会への参加希望者を募集していますので、興味のある方はコンサート実行委員会事務局にご連絡ください。

事務局 ☎090-6893-9400(小川)

☎090-6047-7035(井上)

国際の街・長崎コンサート実行委員会

企画・広報担当 学21 井上 直樹

一つでも制覇は難しいとされるヨーロッパの室内楽コンクールにおいて三冠に輝く4人。

青く輝く地平をはるかに望む成層圏(ストラトスフィア)の名を冠した

ヨーロッパ室内楽最高峰の四重奏団がついに、初来日。

そして、ここ長崎にて日本初公演！



ストラトス・カルテット  
クラシックコンサート

# Stratos Quartett

2019年5月27日(月)

チトセピアホール

開場 18:30 開演 19:00

曲目

- F.メンデルスゾーン  
ピアノ四重奏曲第2番 へ短調 作品2
- W.ゲルノート  
ピアノ四重奏曲『ウィーンより愛を込めて』
- J.ブラームス  
ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 作品25

【チケット】 指定席 5,000円 自由席 4,000円 学生 2,000円

【チケット取り扱い】 浜屋プレイガイド ☎095-811-1080 くさの書店(西友店) ☎095-857-2560

主催: 国際の街・長崎コンサート実行委員会 後援: 長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、  
毎日新聞社朝日新聞社、読売新聞西部支社、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ、  
エフエム長崎、長崎県音楽連盟 【お問合せ】国際の街・長崎コンサート実行委員会事務局 ☎090-6893-9400(小川) 実行委員会  
web サイト



一個性豊かな4人のハーモニーが清々しく響くひととき、  
日常の地平をほんの少し離れて、音楽に満たされた空間に遊泳を—

# ストラトス四重奏団 Stratos Quartett

2013年、創立。

2013年、オーストリアでのブラームス国際音楽コンクール第1位。

イタリアでの第15回ピネロロ・トリノ国際室内楽コンクール第1位、併せてシューマン賞を受賞。

2017年、ポーランドでの第2回ベートーヴェン国際室内楽コンクール第1位、併せて総合グランプリを受賞。

2018/19年度オーストリア外務省音楽振興プログラム推奨アンサンブルに指名される。

Stratos Quartett (公式サイト: 英/独語)



トップページメニュー  
⇒「Media」のページ  
にて、いくつかの音源  
を聴くことができます。



## 1 佐藤麻理 (ピアノ)

ウィーンを拠点に活動し、第19回ブラームス国際音楽コンクール・ピアノ部門第1位受賞後、秋山和慶氏の指揮による東京ニューシティ管弦楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団(広上淳一氏指揮)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団(杉本優氏指揮)のソリストとして招かれ、共演。

ストラトス四重奏団のメンバーとして、イタリアでの第15回ピネロロ・トリノ国際室内楽コンクール第1位、併せてシューマン演奏賞を受賞。アメリカでの2017年M-Prize国際室内楽コンクール第3位。ウィーン楽友協会主催リサイタル、リンツ・ブルックナー・ハウス、チェコ・ドヴォルザーク音楽祭、イタリアのイル・ティンブロン音楽祭、ロンドン・ウィグモアホール等、数々の演奏会に招かれる。ブルーノ・ワルター作曲のピアノとヴァイオリンのためのソナタがNaxosより発売される等、ソリストとしてだけでなく、室内楽においても幅広く活動している。

東京藝術大学付属音楽高等学校を卒業後、2006年、同大学ピアノ専攻科に入学。2007年よりウィーン国立音楽芸術大学ピアノ室内楽科にて研鑽を積み、同大学院修士課程を最優秀の成績で修了。卒業時に学業奨励賞を受賞。2013/2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。岡田敦子、アヴォ・クムジャン各氏に師事。

2018年よりウィーン国立音楽大学弦楽器科のコレパティートルとして指導に当たっている。

## 2 マグダレーナ・エーバー (ヴィオラ)

1987年、ウィーン生まれ。6歳よりポラチェック、シュルツ各氏のもとでヴァイオリンを始める。ヴィオラの音色への愛に目覚め、ウィーン国立音楽大学にてミュラー氏、2005年よりオクセンホーファー氏に師事。またセルディッツ、ローデ、リーブル各氏からも薫陶を受ける。

国内外の様々なヴィオラと室内楽コンクールにおいて受賞。2013年からはウィーン市立オペラ座オーケストラの団員として、また2018年からは同オーケストラのヴィオラ・セクション首席奏者として活躍している。

## 3 カタリーナ・エンゲルブレヒト (ヴァイオリン)

(Katharina Engelbrecht)

1987年、ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学にてソロコヴァ氏、ケルン音楽大学にてブロン氏に師事。ウィーン国立音楽大学ポストグラデュアル科にてソロコフ氏、同じく室内楽をマイスル氏に師事。

国内外でのコンクールで数多くの受賞歴があり、ソリストとしてアルプ・アドリア・オーケストラ、カウナス室内楽オーケストラ、ドプロブニク交響楽団、ウェーベルン交響楽団、オスターリヒ・オーケストラなど、数多くのオーケストラと共演。18歳でウィーン楽友協会大ホールにデビューし、2003年よりストラトス四重奏団に参加し、数多くの賞を受賞。ドイツ、フィンランド、フランス、イタリア、クロアチア、リトアニア、スペイン、ロシア、日本と多くの国々で演奏活動を繰り広げている。

2013年よりウィーン国立歌劇場舞台オーケストラ団員、そして2018年3月よりウィーン国立歌劇場オーケストラ団員として活動している。

## 4 ヤン・リスカ (Jan Ryska) (チェロ)

1984年、プラハ生まれ。5歳よりチェロを始める。2005年、プラハコンセルヴァトワールを卒業。2012年、プラハ芸術大学を卒業し、2014年3月よりウィーン国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。在学中に、音楽を更に究めるためにパリ国立高等音楽院へ短期留学。堤剛、サチヨフスカヤ氏、イッサリス氏等、世界的なチェリストや巨匠と出会い、研鑽を積む。

幼少期から数多くのチェロと室内楽コンクールで受賞歴があり、特にオーストリアでのブラームス国際音楽コンクール、イタリアでのピネロロ・トリノ国際室内楽コンクール、ポーランドでの第2回ベートーヴェン国際室内楽コンクールのすべてで第1位、また第7回大阪国際室内楽コンクールで銀メダルなど、室内楽活動につながるきわめて大きな受賞歴を誇っている。

ヨーロッパ、アメリカ、日本への演奏旅行や、チェコ放送局ラジオでの録音など、世界中を飛び回る。2012年よりウィーン国立歌劇場オーケストラ団員。

楽器は1740年、イタリアのモンタヴァで製作されたフランチェスコ・バルビエーリを使用している。